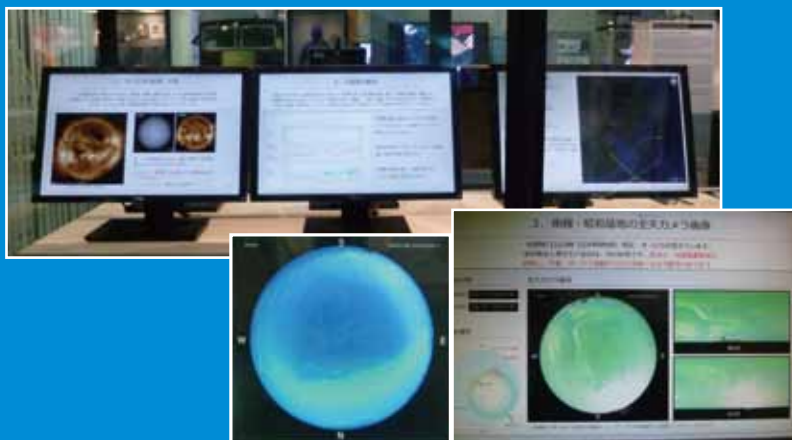


2014年12月号

今月のテーマは、  
「準リアルタイム  
オーロラディスプレイ」  
です。



今月は「準リアルタイムオーロラディスプレイ」を紹介するよ！  
紹介してくれるのは、田中 良昌（たなか よしまさ）さんです。

南極・北極科学館では、南極の昭和基地や北極のノルウェーの空に今まさに出現しているオーロラの画像を準リアルタイム（約1～5分遅れ）で表示しています。4～9月は南極の昭和基地に、10～3月は北極のノルウェーにカメラを切り替えることで、1年中美しいオーロラを楽しむことができます。特に、明るいオーロラは真夜中近くに現れるので、日本時間の午前中に見ていただくのがお勧めです。また、科学館では人工衛星で観測された太陽表面の画像とムービー、太陽風の準リアルタイムデータも表示しています。これらを順に眺めることで、太陽→太陽風→オーロラとつながる宇宙の天気を実感できるようになっています。



田中さんはどんなお仕事をしていますのですか？

オーロラの3次元構造を調べています。離れた場所から何台かのカメラで同時にオーロラを撮影して、その画像を解析することで、オーロラの3次元構造を復元します。オーロラが光る高さ（高さ約80～300km）を調べることで、オーロラの原因となる宇宙から降ってくる電子のエネルギーや大気の情報を知ることができるのです。